

# 絆

題字  
堤 美幸 元理事

新潟市青少年育成協議会創立60年の節目を契機に第12号から題字を刷新しました。

新潟市  
青少年育成協議会

## 第16号

●発行●  
令和8年1月14日

●事務局●  
新潟市教育委員会  
生涯学習推進課

### 子どもの笑顔が輝く 地域活動

新潟市青少年育成協議会

会長 郷 扶二子



新年おめでとございます。  
関係団体の皆様の日

頃からの活動に心よりの敬意を表します。  
近年子どもたちをめぐる環境は大きく変化して、社会みんなで子どもを大きくむ時代となっています。

新潟市の公立学校では「コミュニティ・スクール」という学校運営協議会が設置された学校運営となっています。そして運営委員として地域の私たちもかわり、地域の子どもたちと一緒に育てています。  
また、中学生のスポーツや文化活動の多くは部活動で行ってきましたが、これからは、地域クラブ活動を中心に行われるようになります。そこにも地域の力が求められています。

このような変化の中で私たちおとなが大切にしていかなければならないことは子どもを聞き、一緒に考えることだと思えます。そして、その活動を形にしていくためには、私たちは、今までの活

動を少し見直すことが必要になるかもしれません。

先般の会長事務局研修では、地域の多様な団体が協力し、子どもたちが企画段階からかわりながら一緒に事業を創った地域活動が紹介されました。

これからは単一団体だけで事業展開をしていくことが難しい時代となると思います。

私は子どもたちの笑顔があふれる豊かな地域を創っていくために、子育てにかかわる人たちが手をつなぎ大きな仲間として活動したいと思っています。

今年もおとなのネットワークを広げるために様々な人々と交流する機会を増やしていきたいと考えています。皆様にはこのことをご理解いただき、ご協力をいただきたいと思えます。

結びになりましたが、皆様のますますのご活躍とご健康を祈念いたします。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。



### 令和七年度 県・市功労者表彰受賞者紹介

新潟市青少年育成協議会 功労者表彰

#### 個人

南浜地区 樋口由紀子様



長年健全育成部に携わり、弥彦山登山、福島潟探索、海辺の森でのキャンプ、クリスマスの集いなどの企画、運営の中心になって活動を推進してきました。

秋葉区 山田 道夫様



新潟市との合併前より地区育成協の副会長や会長を歴任し、秋葉区の青少年健全育成を主導し、市育成協理事を長年務めました。また、市育成協にも貢献しました。

### 受賞者の皆様おめでとうございます。



ご来賓の教育長を囲んで

※青少年健全育成県民会議会長表彰及び青少年健全育成功労者新潟県知事表彰はありませんでした。

### 令和七年度 新潟市青少年育成協議会 役員紹介

六月十二日(木)、万代シルバーホールで開催した年次総会において、令和七年度の役員が承認されました。

(敬称略・カッコ内は地域名)

- 会長 郷 扶二子(西区・坂井輪)
- 副会長 宮原 務(中央区・新潟柳都)
- 副会長 五十嵐陽子(西区・小新)
- 理事 清水 文桜(北区・南浜)
- 理事 佐久間沙都美(北区・木崎)
- 理事 相馬 義明(東区・下山)
- 理事 石倉 竜一(東区・山の下)
- 理事 上杉 知之(中央区・鳥屋野)
- 理事 井浦 邦子(江南区・曾野木)
- 理事 山口 好子(江南区・亀田)
- 理事 馬場 一也(秋葉区・西部)
- 理事 山田 啓一(秋葉区・新関)
- 理事 平原 大悟(南区・味方)
- 理事 星野 佳一(南区・月瀉)
- 理事 五十嵐浩文(西浦区・岩室)
- 理事 石田 晶子(西浦区・巻)
- 理事 中川 薫(東区・藤見)
- 会計監査 笠井 敏夫(西浦区・西川)



# わたしの主張 新潟市地区大会

八月十九日(火)、黒崎市民会館を会場に、わたしの主張新潟市地区大会を開催しました。

市内の中学生三百六十三名の応募の中から選ばれた十名が、日ごろ考えている思いを熱く語りました。会場には発表者のほか、家族や学校の先生方、市民の方々など約百四十名が来場し発表に耳を傾けました。

司会は、小針中学校三年宮路千太郎さん、二年佐藤陽菜さんが務めました。発表者とテーマ、審査の結果は下の一覧のとおりです。

最優秀賞を受賞した白井菜都さんは、新潟市の代表として九月二十一日(日)に新潟県大会(新発田市民文化会館で開催)に出場し、奨励賞を受賞しました。



発表者、司会者及び審査員による記念写真

## 「わたしの主張」発表されたみなさん (敬称略 優秀賞、奨励賞は発表順)

学校名	学年	氏名	発表テーマ
◎下山中学校	3	白井 菜都	新潟を守る私たちの一步
○新潟明訓中学校	2	多田 蒼	かけがえのない命
○高志中等教育学校	3	前澤 芽依	話すことで広がる世界
◇坂井輪中学校	3	武田 優希	地元の野菜を食べよう!
◇新潟柳都中学校	3	小島 帆花	人を信じることで
◇黒崎中学校	3	飯田 颯太	私の今
◇曾野木中学校	2	長島 三奈	自分らしさ
◇中野小屋中学校	2	渡邊 貴翔	ポイ捨てがもたらす僕たちの未来
◇坂井輪中学校	2	木村 美咲	思いを言葉に
◇両川中学校	3	畑野 湊雅	歴史を学び、よりよい未来へ

◎最優秀賞 ○優秀賞 ◇奨励賞

### 新潟市地区大会最優秀賞

#### 「新潟を守る私たちの一步」



新潟市立下山中学校  
三年 白井 菜都

みなさん、京都の景観条例を知っていますか。条例の目的は歴史的な街並みや自然環境を保護し、調和のとれた美しい景観を保護することです。私は中学二年生の地理の授業で初めて知りました。

京都のコンビニエンスストアやドラッグストアが、見慣れた店のロゴや外観ではなく、茶色を基調としたデザインに変えられている写真を見て、茶色で統一したら、お店が目立たなくなってしまう、どこにあるのかわかりづらそうだと、そ

の時は思っていました。

三年生になり、修学旅行で京都での班別自主研修を行いました。みんなと京都の街並みの中を歩きながら、目にしたのは、新潟でよく見かけるチェーン店の新潟で見たことがない茶色の外観でした。周りの風景に溶け込んでいて、これらの建物すべてが、美しい京都の景観として一体となっているということが実感できました。これは行政や多くの企業、地元の方々の手を取り合い、実現させた景色です。だからこそ日本人だけでなく、たくさんの外国人観光客を惹きつけているのだと思いました。

それでは、ここ、新潟はどうでしょう。皆さんの思い浮かべる新潟は、どんなところですか。私は、水田が広がり、おいしいお米が豊かに実る風景が思い浮かびます。冬の田んぼには白鳥が飛来しています。この豊かな自然あふれる新潟の風景を、私は守っていききたい。そして、さらに良くしていきたいと思っています。

これらを守っていくために重要なのは、水にかかわる環境だと思っています。白鳥は水辺の生態系が豊かであり、餌となる水草や植物が豊富な場所に飛来します。おいしいお米にとっても水は大切であることは誰の目にも明らかです。新潟県には日本一長い信濃川と、川幅の広い阿賀野川の二つの大きな川が流れていて、この川の恵みを受け、私たちは日々生活しています。

川の恵みについて考えたとき、小学校の頃に学習した新潟水俣病のことを思い出しました。新潟水俣病は阿賀野川に流れたメチル水銀が原因で発症した病気です。小学校では患者の方のお話を直接お聞きする機会がありました。「病気でずに苦しんでいるのに、伝染病ではない

か」という偏見や差別をずっと受け続けている」とおっしゃっていたことが今でも強く心に残っています。そんな偏見や差別により、地域の関係も悪くなっていったそうです。

環境破壊は地域のつながりをも破壊してしまいました。でも、それはつまり、環境を守ることが、地域のつながりを守ることにもなるということです。

国語の教科書に「作られた『物語』を超えて」という文章があります。その中で筆者は、「人間は、伝え聞いた情報を相手に伝えたがる性質を持っている」と述べていました。このことは、私が考える環境を守ることに生かせると思っています。

まず、私自身がいろいろなことに関心をもって学びたいと思います。学んだことは絶対誰かに伝えたくありません。伝えたい相手が私の話をきっかけに関心をもってくれるかもしれない。そして学びたくなって学んだら、また誰かに伝えたくありません。そうやって同じ願いをもつ人や同じ行動をしようとする人を増やしていきたい。たった一人で行動しても大きな結果は出せないかもしれませんが、誰かが初めの一步を踏み出さないと、大きな結果は生まれません。もしかしたら京都の景観条例も、そういう人々の思いが合わさってできたものなのかもしれません。

私たちがもつ、「伝え聞いた情報を相手に伝えたがる性質」をよい方向に活用して、私たちの生まれ育った新潟を、私たちの手で守り、よりよくしていきたいです。

一緒に一步を踏み出しませんか。



# 各区青少年育成協議会の活動紹介



秋葉区



秋葉区育成協では、4月20日に区内一斉クリーン作戦を実施しました。住み続けられる秋葉区づくりのため、約7,000名が参加しました。



北区



木崎地区育成協では、REBIRTH食育研究所代表の村井康人氏による講演会を開催しました。食の楽しさや感謝の気持ちを感じるととても良い時間となりました。



南区



月潟地区育成協では11月23日、新潟みなみ商工会青年部月潟支部と共に「つきがた子ども王国」を開催し、子どもたちが射的などのゲームを楽しみました。



東区



山の下中学校区育成協では8月末に区と協力した地域活性化イベント「山の下夜遊びランド」を開催しました。たくさんの方々に来てくれました。



西区



坂井輪中学校区育成協は、11月13日に新規事業「坂井輪ふれあい広場」を新通つばさ小学校で開催しました。中学生が企画運営、参加者は大盛り上がりでした。



中央区



新潟柳都中学校区育成協は、10月4日に中学校がアントレプレナーシップ教育で行った「しもマルシェ」(地域に人を呼び、活気づけるブースの企画)を応援しました。



西蒲区



中之口地区育成協では、「新春大いに夢を語ろう会」を毎年2月に開催し、園児、小中学生、大人の方々が夢を発表しています。



江南区



横越地区育成協では、6月21日に横越小学校の児童、保護者、教職員、コミ協や町内会などのみなさんと地下道の清掃を実施しました。



被害・非行防止キャンペーンの様子

令和七年度より、犯罪等の被害から子どもを守るという視点により「非行・被害防止」から「被害・非行防止」という名称に変更となりました。

当日は、天候にも恵まれ、関係団体の子どもたちの元気な呼び掛けに、受け取る市民や旅行者の方からも自然と笑顔が溢れていました。

新潟駅や万代シテイ周辺で、啓発チラシとジッパーバッグをセットにした「啓発グッズ」約千八百セットを配布しました。



啓発グッズ

## 被害・非行防止キャンペーンZOOMS

青少年の被害・非行防止全国強調週間の取組として、七月十九日(土)に街頭PR活動を実施しました。

今年度も、地区育成協や青少年関係団体等から約百名のご参加をいただき

## 啓発ポスターコンクール 入賞作品

青少年の被害・非行防止全国強調週間の取組として、「青少年の被害・非行防止」をテーマとして啓発ポスター(イラスト)を募集しました。

市内の小中学生から小学生部門五十七点、中学生部門十四点の応募がありました。小学生部門のテーマは「インターネットの正しい利用」「万引きの防止」「いじめ」、中学生部門のテーマは「飲酒」「喫煙」「薬物乱用」「オレオレ詐欺」「いじめ」「闇バイト」でした。今年度から中学生部門のテーマに「闇バイト」を追加した結果、そのテーマに関する応募作品が多く、興味関心の強さがうかがえました。

### 小学生部門 (敬称略)

- 《最優秀賞》 鳥屋野小四年 番場 絢音
- 《優秀賞》 湯東小三年 齋藤 仁
- 《優秀賞》 鳥屋野小四年 宮 空大



最優秀賞(番場さん)



優秀賞(宮さん)

### 奨励賞

- 鳥屋野小三年 坂井乃乃斗
- 鳥屋野小四年 池野 咲良
- 鳥屋野小五年 佐藤 奈桜
- 鳥屋野小五年 田辺 美咲
- 鳥屋野小六年 庭野 美咲
- 鳥屋野小六年 伊藤 美咲
- 鳥屋野小六年 大島 千鶴
- 鳥屋野小六年 本浪 唯愛

### 中学生部門 (敬称略)

- 《最優秀賞》 白根北中二年 今井 心乃
- 《優秀賞》 光晴中二年 鋤柄 怜依
- 《優秀賞》 大江山中二年 梅澤 蒼歩



最優秀賞(今井さん)



優秀賞(鋤柄さん)

### 奨励賞

- 高志中一年 坂井志乃巴
- 山潟中二年 石澤 希翠
- 山の下中二年 佐藤 明里
- 渡部利衣太

## 啓発ポスターの展示

啓発ポスターを、多くの市民の皆様から見ただけ、被害・非行防止への関心や機運を高めるため、受賞作品(最優秀賞・優秀賞・奨励賞)を市内各所に展示しました。



展示場所	期 間
ラブラ万代	8月 4日(月)~8月19日(火)
イオンモール新潟亀田インター	9月19日(金)~9月28日(日)
ほんぽーと中央図書館	2月 5日(木)~3月 3日(火)

## 会長・事務局研修会

十月二十二日(水)、黒埼市民会館において会長・事務局研修会を開催しました。

今回は「育成協の活性化」各地区における育成協の役割をテーマに、前半は各別に、後半は選択した課題別でグループ協議を行いました。後半は「地域組織等との連携」「部活動の地域展開等の社会の動向を踏まえた役割」「参加・参画する仲間を広げる取組」を選択課題としました。協議では次のような課題解決に向けた意見が出されました。

- ・学校、地域にかかわる組織の連携の見直しや一つにまとめる方向を検討する。
- ・育成協が連携の接着剤の役割を担う。
- ・若者が参画できる組織、活動に見直す。
- ・また、アンケートの複数意見には、他地区の取組が聞けて運営の参考になった。

様々な組織の整理が必要だと感じた。子どもが中心である共通認識が確認できた。

・育成協の理念、原点を学ぶ必要がある。

・今後も様々な協議を行う研修がよい。

などの記述があった。

・満足度が高い研修会でした。

今回の研修が今後の各地区の活性化に生かされることと思います。

(意見等は一部抜粋、要約をしています)



\*新潟市青少年育成協議会は新潟市からの補助金を受けて運営しています。